



平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男子	平成28年7月31日 14:30 開始
1回戦	県立総合体育館小アリーナ G

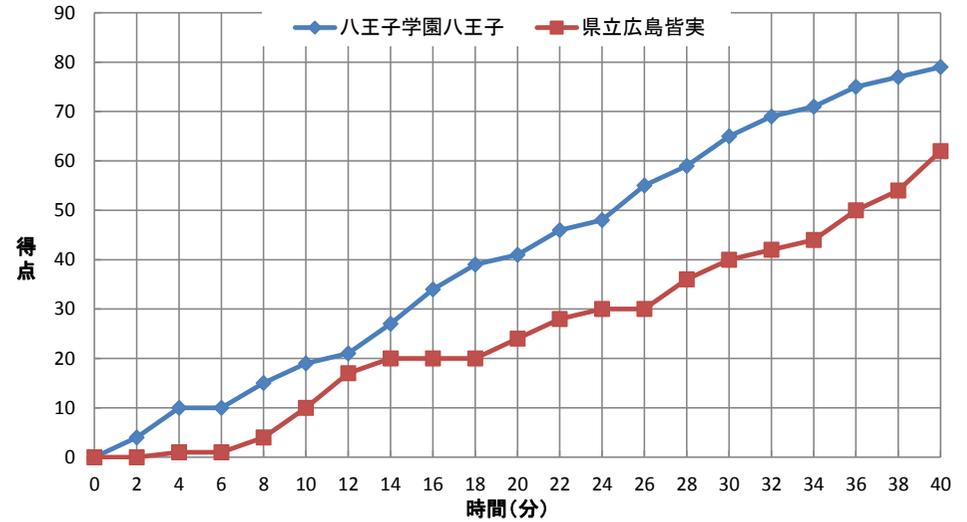
◎ 八王子学園八王子 79 (東京都)	<table border="1"> <tr><td>19</td><td>1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>22</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>22</td></tr> </table>	19	1st	10	22	2nd	14	24	3rd	16	14	4th	22	62 県立広島皆実 (広島県)
19	1st	10												
22	2nd	14												
24	3rd	16												
14	4th	22												

番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 4	根本 拓真	9	1	3	0	2	4	景山 瑛登	6	0	3	0	0
* 5	オト 輝恵	12	0	5	2	5	* 5	倉富 チアゴ	2	0	1	0	4
* 6	黒谷 瑛太郎	17	1	6	2	1	6	片山 弘章	-	-	-	-	-
* 7	ドウドウ ゲイ	33	2	13	1	2	7	天野 優太	-	-	-	-	-
* 8	勝田 賢汰	6	0	3	0	2	8	新井 泰斗	0	0	0	0	0
9	渡邊 蓮	0	0	0	0	0	9	池田 隆太郎	-	-	-	-	-
10	祐木 晃	0	0	0	0	0	* 10	深渡瀬 海	15	1	6	0	2
11	鍋田 風真	0	0	0	0	0	* 11	小川 俊哉	18	0	9	0	3
12	木村 圭吾	0	0	0	0	0	* 12	原 未来斗	13	1	4	2	1
13	野村 弘樹	2	0	0	2	0	* 13	大道 拓将	8	2	1	0	4
14	川畑 輝	0	0	0	0	0	14	山口 由稀	0	0	0	0	0
15	ハバカル アイダラ ジャロ	0	0	0	0	0	15	大塚 直樹	-	-	-	-	-
コーチ	石川 淳一					0	コーチ	藤井 貴康					0
Aコーチ	平川 啓太郎						Aコーチ	湯浅 恵					
合計		79	4	30	7	12	合計		62	4	24	2	14

主審: 富島健司

副審: 福田圭吾

得点経過



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	11:13	19:16	33:59	34:25	38:37	:	:	:	:
TeamB	3:38	15:13	24:08	26:49	32:24	:	:	:	:

〔戦評〕
第1P、八王子は2-3ゾーン、広島皆実はハーフコートマンツーマンでゲーム開始。八王子は#7のポストプレイを中心に得点していく。対する広島皆実は、八王子の2-3ゾーンに苦しみシュートを決めることができない。開始4分、8対0八王子がリードした場面で、広島皆実が1回目のタイムアウト。広島皆実は#10の連続ポイントで得点するが、八王子も#7が入れ返す。1P終了直前に、速攻から広島皆実#5がゴール下を沈め、19対10で八王子がリードして1P終了。
第2P、広島皆実はオールコートマンツーマンでプレッシャーを強め、ターンオーバーから#12がシュートを決め勢いに乗る。その後、#10が3Pを決め、4点差に詰め寄った所で、たまたま八王子が1回目のタイムアウト。タイムアウト後、広島皆実は上手い合わせからゴールを狙うが、シュートが決まらず、逆に八王子#7に決められ、点差をあけられてしまう。残り4分47秒、12点差になったところで、広島皆実2回目のタイムアウト。タイムアウト後も八王子#7を止めることが出来ず差を拡げられてしまう。終了間際、広島皆実#11が連続得点を決め、41対24八王子がリードして前半終了。
第3P、速い展開から広島皆実#11がジャンプシュートや#12ドライブからレイアップを決めるが、八王子も#7のゴール下のバスケットカウントで入れ返す。残り5分、八王子#6がドライブからカウントワンショットを決める。しかし、広島皆実は#4の2Pや、気迫のこもったプレイで食らいつく。しかし、八王子#7の連続3Pが決まり差を拡げられてしまう。65対40で八王子がリードして3P終了。
第4P、広島皆実#10が2Pを決めるが、八王子も#4がレイアップで決め返す。残り7分36秒。69対44で八王子がリードした場面で、広島皆実3回目のタイムアウト。タイムアウト後、広島皆実はディフェンスのプレッシャーを強め、シュートまでいくが決めることが出来ない。広島皆実はオールコートマンツーマンディフェンスでプレッシャーを強め、ターンオーバーから、#11が連続得点をするが、八王子は#6の連続得点で流れを渡さない。広島皆実は最後まで、激しいディフェンスで対抗したが、逆転することはできず、79対62で八王子が勝利した。

戦評: 真東 利巨

記録: 可部高校